

各 位

会 社 名 スパークス・アセット・マネジメント投信株式会社  
代表者の役職名 代表取締役社長 阿 部 修 平  
(登録銘柄 コード番号 : 8739)  
問い合わせ先 取締役 総務経理部長 小 須 田 建 三  
電 話 番 号 0 3 - 5 4 3 5 - 8 2 0 0

## CalPERS (カリフォルニア州公務員退職年金基金) による日本におけるバリュ ー・クリエーション投資戦略 (以下「投資戦略」) の承認について

CalPERS (カリフォルニア州公務員退職年金基金、以下「カルパース」) が、同理事会において、コーポレート・ガバナンスを軸に置いて、日本企業の価値創造を促すことを目的に 2 億米ドルを投資することを承認しましたので、お知らせいたします。

また、「投資戦略」の運営においては、カルパース、Relational Investors, LLC (以下「リレーショナル」)、当社の 3 者が共同でその任にあたる予定でございます。

本投資の目的は、割安な本邦上場企業を探し、投資するものであり、当該投資先企業の経営者と建設的な意見交換を行い、十分な理解を得て、株主、従業員、その他利害関係者の利益の為に、積極的に企業価値の増加を図るものです。

同投資の詳細については、今後、関係者間で協議して参りますが、当社は、「投資戦略」において、単独で投資アドバイザーを務めることが予定されています。

### 【ご参考】

#### ・ CalPERS (カリフォルニア州公務員退職年金基金)

カルパースは、米国で最大の公的退職年金基金であり、現在、コーポレート・ガバナンスに関する投資プログラムを実行している基金です。

#### ・ Relational Investors, LLC

リレーショナルは、株主としての権利行使を活発に行いながら投資行動を積極的に行うことで知られている米国の独立系資産運用会社です。現在、カルパースが、北米に於ける企業の価値創造に焦点を当てた運用を行う上で重要な資産運用会社であります。

以 上

本リリースは、カリフォルニア州公務員退職年金基金（カルパース）が公表する予定の英文オリジナル文をスパークスが便宜的に翻訳したものであり、カルパースの正式な承認を受けた翻訳文ではありません。翻訳内容についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ニュース・リリース（非公式・翻訳）

カリフォルニア州公務員退職年金基金(California Public Employees' Retirement System)

400 P Street, Sacramento, California 95814

2002年9月20日

本件連絡窓口：

Brad Pacheco/Pat Macht

Office of Public Affairs

米国 (916) 326-3991

Ralph Whitworth

Relational Investors, LLC.

米国 (858) 704-3330

井上 一成

スパークス・アセット・マネジメント投信株式会社

03-5435-8200

### カルパースが日本におけるコーポレート・ガバナンス投資戦略に2億米ドルを拠出

カリフォルニア州 サクラメント — カリフォルニア州公務員退職年金基金（以下「カルパース」）は、日本の株式公開企業のうち株価の低迷している企業を対象にコーポレート・ガバナンス（企業統治）の観点から企業価値の向上をはかることを目的として設定される投資戦略に、2億米ドルの投資を行うことを承認いたしました。

日本において株式を店頭公開（銘柄コード：8739）している独立系の資産運用会社であるスパークス・アセット・マネジメント投信株式会社（本社：東京、以下「スパークス」）が、本件の投資アドバイザーを務めることとなります。

カルパースと Relational Investors, L.L.C.（以下「リレーショナル」）は、運用管理会社を設立するにあたり、30%の持ち分を保有することが予定されておりますが、詳細は今後の関係者間の協議により決定されます。

本投資戦略は、限定された数の日本企業に対して集中的に投資を行い、株主・従業員やその他の利害関係者の利益のために、投資先企業の経営陣と建設的な意見交換をしながら企業価値向上を図っていくものです。

カルパース理事会のプレジデントである William D. Crist 氏は、「日本の市場でも少しづ

本リリースは、カリフォルニア州公務員退職年金基金（カルパース）が公表する予定の英文オリジナル文をスパークスが便宜的に翻訳したものであり、カルパースの正式な承認を受けた翻訳文ではありません。翻訳内容についての責任は負いかねますので、あらかじめ了承ください。

つコーポレート・ガバナンスの重要性が認識されてきております。その進展は、過去 10 年間の米国経済の軌跡と一にしています。日本市場においては伝統的に大銀行や経営者そのものによる企業統治が行われてきましたが、これからは株主の役割が格段に大きくなっていくでしょう。我々は、このような投資を日本で始めるのに、今は絶好のタイミングであると確信しております。」と述べています。

米国におけるアクティブ型コーポレート・ガバナンス戦略は、典型的に以下の二つのステップに分けられます。まず、小額の投資を行い、投資先企業の経営陣や他の投資家とコミュニケーションを開始します。仮に会社側が投資家の要求に対して前向きな対応を行わない場合は、投資額を増額し、会社側経営陣との交渉力を大きくすることもあります。

Crist 氏は、「我々の過去の経験から、アクティブ型コーポレート・ガバナンス戦略は、我々の投資ポートフォリオの価値を向上させるのに大変有効であることが証明されています。我々は歴史的にはインデックス型投資戦略や長期的な株式保有を活用してきましたが、アクティブ型コーポレート・ガバナンス戦略により、我々はリソースを集中し、かつ投資先企業において、より大きなステークを持つことが許容されております。」と述べています。

当戦略では、カルパースとリレーショナルの関与に加えて、日本の大手機関投資家なども協力して、投資先企業の企業価値向上のために株主間での協調体制を構築していくことも可能であろうと思われれます。

リレーショナルの代表者である Ralph Whitworth 氏は、「米国における最大の『リレーショナル』な企業価値創造の投資に注力している機関として、日本の独立系資産運用機関のトップであるスパークスと、世界のコーポレート・ガバナンス活動のリーダーであるカルパースとの戦略的関係構築ができることを大変喜ばしく思っています。スパークスが当戦略を通じて日本で成功するための諸条件は既に全て整っています。なぜならば『リレーショナル』スタイルの投資は全世界で有効であるからです。」と述べています。

リレーショナルはコーポレート・ガバナンス関係投資の専門家で、これまでに数多くの米国企業の企業価値向上に成功してきました。米国内においてカルパースのアクティブ型コーポレート・ガバナンス戦略を担っており、現在は 7 億 5 千万ドルを運用しています。

カルパースのスパークスへの運用委託は、2001 年 11 月にカルパースが決定した米国、日本、欧州へのアクティブ型コーポレート・ガバナンス戦略における運用委託先への 12 億米ドルの資金配分の一部です。カルパースは、欧州においても投資機会を検討しており、今後 2 年間で残りの 10 億米ドルの投資を行う予定です。

カルパースは米国における最大の公的年金基金で、資産総額は約 1,350 億米ドルです。カルパースは、130 万人を超える州および地域公務員とその家族に対して、退職金や健康保険の提供を行っております。カルパースについての詳細につきましては、ウェブサイト ([www.calpers.ca.gov](http://www.calpers.ca.gov)) をご参照ください。